



2021年9月16日

各 位

太陽生命保険株式会社
代表取締役社長 副島 直樹



太陽生命、「株式会社デンソー」が発行する

「サステナビリティボンド」への投資を実施

T&D保険グループの太陽生命保険株式会社（社長 副島直樹）は、ESG投融資の一環として、株式会社デンソー（以下、「同社」）が発行するサステナビリティボンド（以下「本債券」）への投資を決定いたしましたのでお知らせいたします。

本債券は、同社として初のサステナビリティボンドの発行で米ドル建て普通社債となります。

本債券の調達資金は、先進安全・自動運転事業、電動化事業（電気自動車（BEV）・燃料電池車（FCEV）・e-VTOL（空モビリティ））、太陽光発電設備など再生可能エネルギーの導入等に関連する支出または投資のファイナンスのみに充当される予定です。

<本債券の発行概要>

発行体：株式会社デンソー

名称：サステナビリティボンド（Moody's 格付：A2、S&P格付：A+）

※国際資本市場協会（ICMA）公表の「グリーンボンド原則」「ソーシャルボンド原則」および「サステナビリティボンド・ガイドライン」に適合した、同社設定の「グリーン、ソーシャル・アンド・サステナビリティボンドフレームワーク」にもとづくサステナビリティボンド

発行総額：5億ドル（約549億円、1ドル=109.78円で換算）

償還期間：5年

SDGs：本債券によって調達された資金は、同社の事業を通して、SDGsの下記目標の達成に向けて貢献される予定です。



当社は、2007年3月に日本の生命保険会社として初めて「責任投資原則（PRI）」（※）に署名し、環境（E）、社会（S）、企業統治（G）の課題に十分配慮し、持続可能な社会の実現に向けた資産運用を行っています。

太陽生命は、これからも責任ある機関投資家として、持続可能な社会の形成に貢献できるよう取組みを推進してまいります。

以 上

（※）責任投資原則（PRI=Principles for Responsible Investment）とは、2005年に当時の国連事務総長であったコフィー・アナン氏が金融業界に対して提唱した原則です。投資の意思決定プロセスや株式所有方針の決定に際して、環境・社会・企業統治（ESG）の課題を考慮し、受益者のために、より優れた長期的な投資効果と持続的な金融市場を実現していくための行動規範です。